

新型コロナウイルス感染対策のための社内体制について

新型コロナウイルス感染対策につきましては、過去2回の『お知らせ』の通り、弊社では、社員に対する感染防止基本行動の徹底、不要不急の集会・外出の制限、通勤方法・勤務形態の弾力的運用、在宅勤務のためのリモートコントロールツールやWEB会議可能な通信環境の導入などを積極的に進めてまいりました。関係各位にはご指導・ご協力いただき、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

一方、6月12日には東京アラートが解除され自粛要請対象もなくなるなど、経済と感染防止の両立を図るフェーズに進んだとされていますが、直近においては若年層を中心に感染者数の増大が見られるなど予断を許さない状況となっております。

弊社といたしましては、今後も万全の注意を払いながら下記の施策を実行していくことで、発注先様をはじめとする関係各位のご要望・ご期待にお応えする所存でございますので、引き続きご理解・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

1. 『新しい生活様式』の社員への浸透

- ・・・勤務時、オフ時を問わず、社員一人一人が責任ある者として感染防止を心がけてまいります。また、高温多湿の時期を迎え熱中症対策とコロナ感染対策の双方を満たす冷感マスクや送風機能付き作業着の導入をさらに進め、労働環境の向上に努めます。

2. 勤務体制の弾力的運用の継続

- ・・・通勤方法の変更や、出退勤時間の調整、テレワーク可能業務の拡大等を図り、全社的に感染拡大を防止してまいります。同時に執務スペースの拡張を進め、3密を完全に排除してまいります。

3. 『新しい生産体制』の確立

- ・・・感染防止策の実施を通じて、既存生産手法・人員体制の見直しや、WEBツールなど必要な設備の導入を進め、さらに効率的で良質な生産体制の確立を目指してまいります。

令和2年7月7日
株式会社 大輝